

野村萬齋プロデュースによる中島敦の二つの短編を軸に描く音楽劇

原作——中島 敦 Nakajima Tatsushi, Original Author

構成・演出——野村萬齋 Nomura Mansai, Director

萬齋からのメッセージ

山月記 名人伝

【出演】 Cast

野村 萬齋 Nomura Mansai

深田 博治 Fukata Hiroharu

高野 和憲 Takano Kazunori

中村 修一 Nakamura Shuichi

野村 裕基 Nomura Yuki

内藤 連 Naito Ren

尺八 Shakuhachi

長谷川将山 Hasegawa Shozan

大鼓 Ohtsuzumi

原岡 一之 Haraoka Kazuyuki

——人生長いか短いかな
今伝えたい「生きる」とは……

2026年

7月7日(火) 13時30分開演 / 12時45分開場

石川県立音楽堂邦楽ホール

能登の高校生ご招待(石川県立飯田高校・穴水高校)

一般公演(限定販売)

Tuesday 7 July 2026, 1:30pm, Ishikawa Ongakudo Hongaku Hall

全席指定 一般販売席 7000円

「萬齋のDENGEL-LAB」公演とのセット券 12000円

【チケット発売日】 5月10日(日)10時

邦友会会員先行5月9日(土)10時、邦友会会員は10%割引

【チケット取扱】 石川県立音楽堂チケットボックス Tel.076-232-8632

窓口9時~19時 / 電話10時~18時 休館日5/7、6/15

チケットぴあ(PCコード 542-258)

2026



石川県立音楽堂
ISHIKAWA ONGAKUDO

山月記

唐の時代、李徴は官吏であることに飽き足らず、詩人として名を成そうとその道を選ぶが、なかなか名声は上がり、絶望と挫折感に苛まれ、ついに発狂して行方知れずとなる。翌年、旧友の袁煥は公用の旅の途中、山中で、一匹の猛虎に襲われそうになる。ところが虎から聞こえてくるその声は……。

名人伝

趙の国の紀昌は、弓矢の名人になるうと、当代の弓矢の名手・飛衛に弟子入りした。その教えに従ひたすら修練を重ねる紀昌。めきめきと上達し、天下第一の名人となるため、いよいよ飛衛を討とうと企んだが、飛衛は次の師に名人・甘蠅老師を紹介する。ついに名人となって山を下りてきた紀昌は、弓矢の存在すら忘れてしまうという不射之射の境地に至る。

萬齋からのメッセージ

山月記 名人伝

2026

野村萬齋

Nomura Mansai



祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。
芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊国屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、坪内逍遙大賞など受賞多数。石川県立音楽堂芸術監督、東京芸術大学・日本大学芸術学部客員教授。全国公立文化施設協会会長。



長谷川将山「尺八」

Hasegawa Shozan

10歳より尺八を始め、藤原道山に師事。東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。藤井風氏の録音やツアーに参加するなど活動は多岐に渡り、2024年には東京オペラシティ主催「B↓C」に出演、自身初のソロ公演「長谷川将山 第一回 尺八リサイタル」を浜宮朝日ホールにて開催。令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、令和7年度大和市文化芸術顕彰文化芸術未来賞ほか受賞。現在、大阪音楽大学非常勤講師。



原岡一之「大鼓」

Haraoka Kazuyuki

1977年生。大鼓方葛野流。亀井忠雄(人間国宝)・亀井広忠および祖父・原岡正隆に師事。9歳で初舞台を踏む。国内外での能楽公演に出演し、精力的に活動している。重要無形文化財総合指定保持者。



深田博治

Fukata Hirohata

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作「門」の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」等を披き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター、新国立劇場演劇研究所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。出身地・大分で「狂言やっとな会」を主宰している。



高野和憲

Takano Kazunori

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作「門」の研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」等を披き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター・新国立劇場演劇研究所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。



中村修一

Nakamura Shunichi

1989年生。野村万作に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。9歳で入門後、幼少より舞台上立ち、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を披く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、早稲田大学、東京女子大学、共立女子大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能、庄内能楽館を指導している。



野村裕基

Nomura Yuki

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。能楽協会会員。3歳の時に『靉猿』で初舞台。2017年「三番叟」、2020年「那須与市語」、2022年「釣狐」を披く。世田谷パブリックシアター「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」で重要な役を演じ、活動の場を広げている。朝日カルチャーセンターで講師を勤めるほか、早稲田大学、東京大学、成城大学の狂言サークルを指導している。



内藤 連

Naito Ren

1986年生。野村万作に師事。成城大学経済学部卒業。国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。能楽協会会員。これまでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」を披く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学、お茶の水女子大学、成城大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能を指導している。

舞台監督・照明・音響・大道具：金沢舞台
映像：オトムラ
かつら：アート三川屋
衣装スタッフ：川口知美、工藤亜里紗
制作・主催：(公財)石川県音楽文化振興事業団
TEL 076-232-3403
協力：万作の会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

石川県立音楽堂

公益財団法人
石川県音楽文化振興事業団
〒920-0856 金沢市昭和町20-1
(JR金沢駅兼六園口より徒歩1分)
TEL 076-232-8111
https://www.ongakudo.jp

